

乳肉複合経営の実態調査

藤島直樹・大石登志雄・竹原 誠 (福岡県農業総合試験場・山門農業改良普及所)

Naoki FUJISHIMA Toshio OISHI and Makoto TAKEHARA : A Field Survey of Diversified Dairy Farm Management

今日酪農経営では乳肉複合経営を志向している農家が多いが、その現状と問題点を明らかにして、今後の酪農経営改善の資料とするために実態調査を実施した。

1. 調査方法

1) 酪農家の実態調査 ①福岡県下酪農家の調査(1985年:県酪連調査)のなかから、乳用複合経営の取り組みに関する項目について調査、解析 ②福岡県畜産コンサルタント診断集(1983~1985年)から、酪農家の経営概況の調査 ③乳肉複合経営農家のなかで、雄子牛の肥育経営を行っている8戸を調査(1984年)

2) 市場調査 ①乳牛種雌の屠殺状況(1983~1985年) ②県酪連主催の枝肉共進会、枝肉研究会における227頭の経産牛の肥育実績(1982~1986年) ③県酪連傘下酪農家の経産牛枝肉価格の推移(1984~1985年)

2. 結果及び考察

1) 乳肉複合経営の取り組み 調査酪農家953戸のうち、540戸(56.7%)が乳肉複合経営に取り組んでおり、特に飼い直し肥育は451戸(47.3%)の多くを占めていた。乳肉複合経営上の問題点としては、牛床不足31%、肥育技術不足(未熟)26%、肥育素牛選定不明15%、その他メリットなし、労働力不足、枝肉価格の不安定等があった。酪農家の今後の取り組み方向については、回答のあった522戸のうち、143戸(27%)が搾乳のみを実施するとしているが、残りの379戸(72.6%)の農家は乳肉複合経営を実施していく希望を持っており、酪農経営以外に活路を求めていることが判明した。

2) 酪農家経営診断の概況 49戸の平均経営規模は、経産牛29.4頭、搾乳牛13.8頭、育成牛・未経産妊娠牛及び各種肥育牛を含めたもの14.6頭であった。そのうち経

産牛の廃用頭数は7.5頭、経産牛全頭に対する廃用率は25.5%であった。

3) 乳肉複合経営農家の実態 飼養規模は乳牛部門で経産牛37頭、未経産牛19頭、計56頭、肥育部門で雌の肥育6頭、雄の肥育16頭、計22頭、乳牛、肉牛合すると78頭の大規模経営であった。また、肥育牛への粗飼料としてはワラ及び乾草が、また粕類は、ビール粕、トウフ粕、シヨウチュウ粕等が搾乳牛及び肥育牛へ給与されていた。

4) 乳牛雌の屠殺頭数 成牛全体に対する乳牛雌の屠殺割合は、3ヵ年で26.1~27.4%の範囲であり、平均26.9%であった。

5) 経産牛の肥育実績 増体状況を見ると、平均産次2.9産、肥育日数91日であり、1日平均増体重(DG)は、乾乳肥育で0.71~1.27kg、平均1.05kg、搾乳肥育で0.61~1.08kg、平均0.91kgと良好であった。

枝肉状況を見ると、「並」格付がすべての産次において80%を超えて、全国平均の50%を大きく上回り、肥育による肉質の改善が認められた。

6) 経産牛枝肉価格の推移 平均価格は、1984年が、1,041円、1985年では1,092円であった。疾病、事故、老齢等による出荷のみならず、肥育された経産牛も含まれているため良好な価格であったものと推測される。

以上のように、今後とも乳肉複合経営取り組みを希望する酪農家は72.6%と高く、肥育経営を取り入れるメリットは十分あることが判明したものの、その一方では問題点も多くあり、さらに安定した乳肉複合経営を実施するためには、肥育牛収容施設の確保はもちろん、飼料の給与技術の確立や、肥育素牛(経産牛)の選定技術の確立が重要である。

第1表 酪農家皆調査

農家数 953戸

従業者数	後継者の有無				飼 養 規 模				乳肉複合の取り組み				
	有 り	未 定	な し	その他	牛床数	頭 数	搾乳牛	育成牛	廃用牛	飼い直し肥育	未経産肥育	雄肥育	複合経営戸数
人	人	人	人	人					(878戸)	(451戸)	(57戸)	(32戸)	540戸
2.18	306 (32%)	177 (19%)	280 (29%)	190 (20%)	25,774 (27.1頭)	31,366 (32.9頭)	21,600 (22.7頭)	9,766 (10.3頭)	5.094	2.162	279	281	56.7%

第2表 乳肉複合取り組み上の問題点 (戸)

回答	牛床不足	技術不足	畜畜選定不明	メリットなし	労働力不足	肉 値不安定
215	67(31)	55(26)	33(15)	27(13)	19(9)	14(6)

注) ()内は回答者数に対する割合(%)

第3表 酪農経営の今後の取り組み (戸)

回答	搾乳のみ実施	乳 肉 複 合 経 営 の 実 施				計
		搾乳+飼い直し肥育	搾乳+飼い直し肥育+肥育	搾乳+肥育	搾乳+雄肥育	
522	143(27)	340(65)	34(7)	4(-)	1(-)	379 (72.6)

注) ()内は回答者数に対する割合(%)